

報道関係各位

2017. 7. 13

## 東京観光、バブル期並み 93 万人超える。

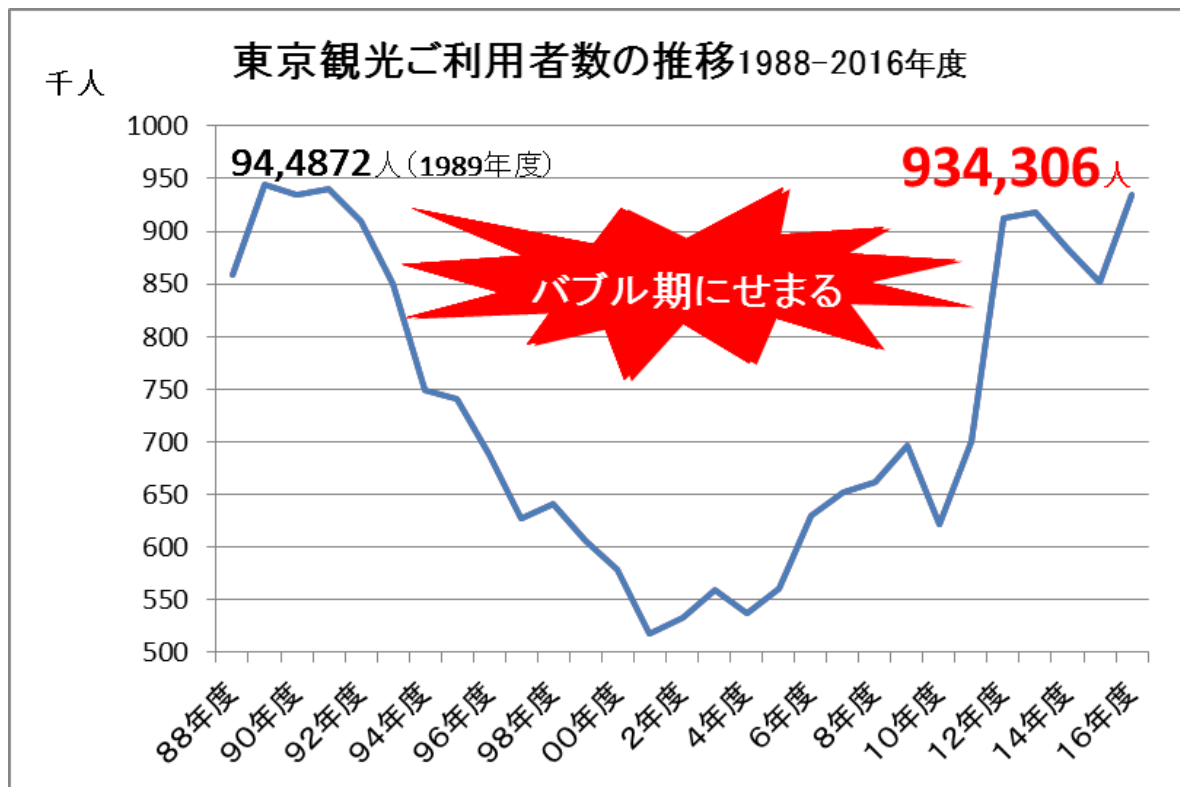
訪日外国人コースは 5%減も、国内需要が伸長、好調持続。

[2016 年度 東京観光 ご利用者数発表]

株式会社はとバス(東京都大田区／代表取締役社長 中村靖)は 2016 年度(2016 年 7 月 1 日～2017 年 6 月 30 日)の東京観光コースのご利用者数を発表します。

**934, 306** 人 (昨年比109. 6%)

うち訪日外国人向けコースは83, 879人(前年比94. 4%)



本件に関する報道関係の方からの問い合わせは 下記までお願いいたします。

株式会社はとバス 広報室 (大田区平和島 5-4-1) TEL. (03)3761-8128

永野 / 相田 / 峰岸

※本リリースは国交省記者会、都庁記者クラブに同時配布しています。

## ◆◆◇概 況◇◆◆

### コースの 카테고리別ご利用者数

	2016年度	2015年度	増減	前年比
昼コース	718,173人	643,708人	74,465人	111.5%
夜コース	118,630人	103,579人	15,051人	114.5%
訪日外国人コース	83,879人	88,854人	▲4,975人	94.4%
団体での貸切利用	13,624人	16,105人	▲2,481人	84.6%
合 計	<b>934,306人</b>	852,246人	<b>82,060人</b>	<b>109.6%</b>

- 軽井沢スキーバス転落事故や熊本地震の影響や、8～9月に相次いで接近・上陸した台風や雨天の影響等により2016年9月まで苦戦を強いられましたが、秋の行楽シーズンから急伸びました。前年度よりご利用者数が8.2万人増加の93万人を超え、バブル期に匹敵するご利用者数となりました。
- 昨年度（2015年）不調だった夜コースも好調に推移し、昨年度比15%増となりました。
- 一方、中国人向けコースが25%減少し、訪日外国人向けコース全体の利用者は5.6%減の8.4万人となりました。インバウンド需要の落ち込みは国内需要が回復、カバーしました。

これらの背景には、北海道新幹線開業（2016年3月）、バスタ新宿の開業（同年4月）、赤坂離宮迎賓館の一般公開（同年4月）、国立西洋美術館が世界文化遺産に登録（同年7月）、GINZA SIXの開業（2017年4月）などが話題となり、また築地市場の移転問題が大きく報道されるなど、東京への関心が高まったと考えられます。さらに都内ホテルの客室不足と宿泊代金の急騰が一服、値下げする動きも出てきました。こうした都内ホテルの宿泊事情が変化し、地方からの客足が戻ってきました。

こうした市場機会に対して、弊社では赤坂離宮迎賓館や国立西洋美術館など、話題の施設を組み込んだコースを販売、また需要の高い2階建オープンバスの台数を増やし需要を取り込みました。また、2017年3月から各新幹線の開業周年記念商品（割引切符や往復の新幹線とホテルをパックにした旅行商品など）をJR各社が発売、東京への旅行者数増加も見込まれ、それに連動し各地方都市での需要喚起を行うなど、マーケティング活動（プロモーション）を積極的に展開しました。

### 東京観光に関わる出来事 2016～2017年

- |                          |                         |
|--------------------------|-------------------------|
| ○北海道新幹線開業（2016年3月）       | ○築地市場移転延期決定（2016年9月）    |
| ○東京ディズニー開業15周年（2016年4月）  | ○プレミアムフライデー（2017年2月）    |
| ○バスタ新宿（2016年4月）          | ○GINZA SIXオープン（2017年4月） |
| ○西洋美術館 世界文化遺産登録（2016年7月） | ○4、5月の大型連休 後半は5連休       |
| ○小池東京都知事誕生（2016年7月）      | ○東京スカイツリー開業5周年（2017年5月） |
| ○天皇陛下 生前退位お気持ち表明（8月）     |                         |

